



## 不定期自動省電力配信

---

- [不定期自動省電力配信について \(1 ページ\)](#)
- [不定期自動省電力配信の確認 \(CLI\) \(1 ページ\)](#)

### 不定期自動省電力配信について

不定期自動省電力配信 (U-APSD) は、モバイルクライアントのバッテリー寿命を延ばす QoS 機能で、IEEE 802.11e で定義されています。この機能により、バッテリー寿命が延びるだけでなく、無線メディアで配信されるトラフィック フローの遅延時間が短縮されます。U-APSD では、クライアントはアクセスポイントでバッファされる個々のパケットをポーリングする必要がないため、単一のアップリンク トリガー パケットを送信して複数のダウンリンク パケットを配信することが可能になります。

WMM が有効化されると、U-APSD は自動的に有効化されます。

### 不定期自動省電力配信の確認 (CLI)

手順

---

**show wireless client mac-address *client\_macdetail***

例 :

```
Device# show wireless client mac-address 2B:5B:B3:18:56:E9 detail
Output Policy State : Unknown
Output Policy Source : Unknown
WMM Support : Enabled
U-APSD Support : Enabled
  U-APSD value : 15
  APSD ACs    : BK(T/D), BE, VI(T/D), VO(T/D)
Power Save : OFF
Current Rate :
```

```
-----
BK : Background
BE : Best Effort
```

VI : Video  
VO : Voice.

T: UAPSD Trigger Enabled  
D: UAPSD Delivery Enabled  
T/D : UAPSD Trigger and Delivery Enabled

クライアントの詳細情報を MAC アドレス別に表示します。

---

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。